

2021年2月2日

## 使用済みプラスチックの再資源化事業への取り組み 新会社『株式会社アールプラスジャパン』へ資本参加

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：井阪 隆一、以下「セブン&アイ」）は、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、昨年6月から事業開始した共同出資会社『株式会社アールプラスジャパン』に資本参加し、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組みます。

セブン&アイは、2019年5月にグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を発表し、目指す姿の一つ「循環経済社会（サーキュラー・エコノミー）」の達成に向けたプラスチック対策に取り組んでおります。ペットボトルにおいては、セブン&アイグループでは現在899台（2020年1月末現在）のペットボトル回収機を店頭に設置し、2019年度は約9,800t（500ml ペットボトル換算で約3億6千本）を回収しリサイクルしています。このたびの資本参加を通じて、ペットボトル以外の廃プラスチックのケミカルリサイクルにおいても循環経済社会を目指すため、『株式会社アールプラスジャパン』とともに技術・仕組の構築に努めてまいります。

### ● 共同出資事業における取り組みについて

セブン&アイが共同出資事業へ参画する株式会社アールプラスジャパンは、米国のバイオ化学ベンチャー企業であるアネロテック社（Anellotech Inc.）とともに、環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料・食品メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

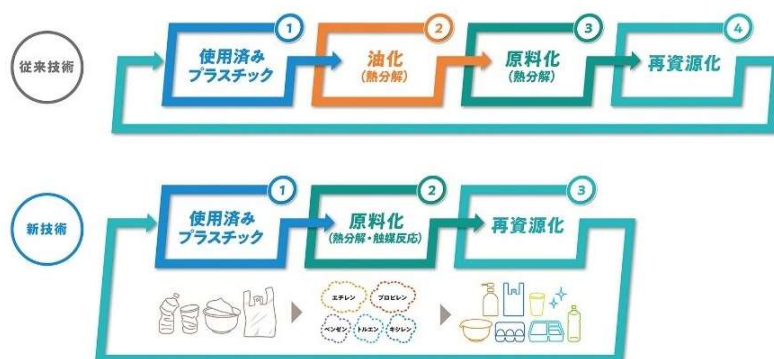
### ● 使用済みプラスチックの再資源化技術について

ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼※1 されているとされています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料（ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレン・プロピレンなど）に戻すケミカルリサイクル※2の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO<sub>2</sub> 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると考えています。

※1 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー（熱利用）を含む

※2 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする

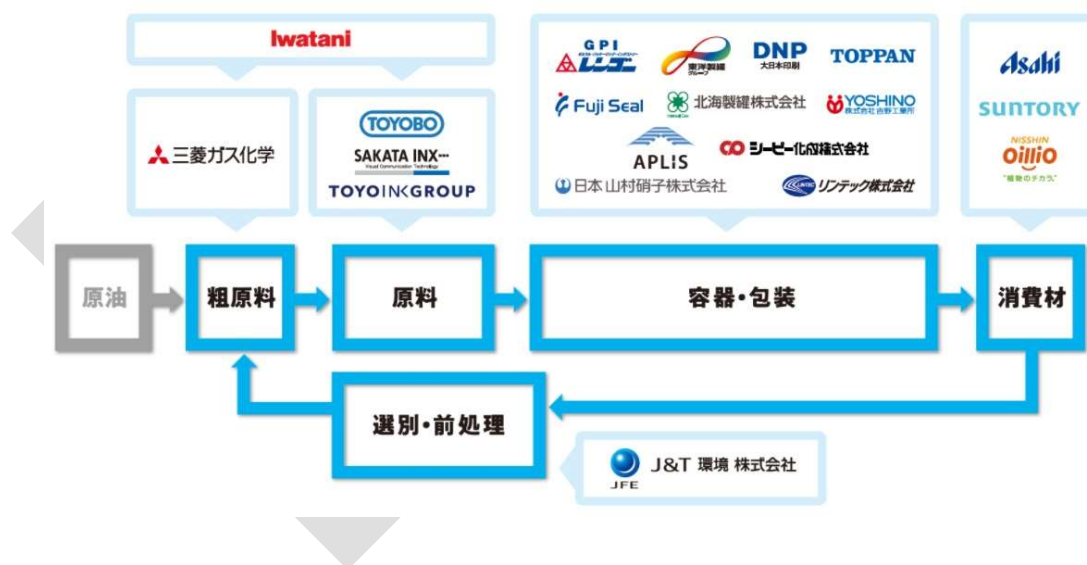


● 共同出資会社および出資の概要

会社名	株式会社アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役社長	横井恒彦
事業内容	使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

- アネロテック社 (Anellotech Inc.) について  
2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。(https://www.anellotech.com/)

● 参画企業



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社セブン&アイ・ホールディングス 広報センター TEL : 03-6238-2446